

活動の場所

鹿沼工場敷地内



活動目的

2014年度より継続して、栃木県重要種「オオチゴユリ」、栃木県準絶滅危惧「トヒゲシバ」を工場敷地内にて保全活動を推進しています。「オオチゴユリ」生育を阻害する帰化植物「ハリエンジュ」の駆除、常緑樹(「シラカシ」、「コナラ」、「エノキ」)植栽等により生育エリア内を整備・整地しました。毎年、低木類や雑草除去作業を実施し増殖、開花観察を行っています。本活動を行うことで従業員の生態系の認識向上を図っております。継続活動。

活動内容

工場緑地部に保護育成されている箇所を毎年定期定期に従業員により保護整地を行っております。整地活動を実施する事により自然の変化を感じ取り毎年の変化を記録しております。

オオチゴユリ保護

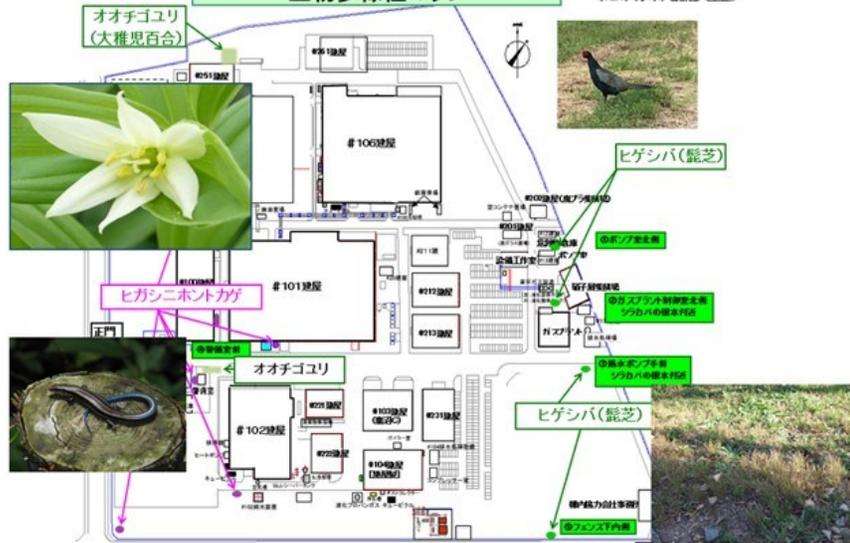


緑地部整地



鹿沼工場内生態系

生物多様性マップ



PRしたいポイント

鹿沼工場では「ネイチャーポジティブ」の実現に貢献していくことをめざし、生物多様性保全活動を推進しています。「生態系ネットワークの構築」「希少種の保護、生息域外保全」の活動テーマのもと敷地内において、従業員にて生態系の保護、整地活動を行っています活動の際には、「連携」「広報」従業員自らが企画又は参加する活動が中心となっており、拠点内の環境意識向上、活動の継続的展開につながっています。

活動効果、今後の展開 等

- 動植物専門家との連携（支援を頂く） 東芝ライテック内での共有化。
- 整地保護活動を従業員家族また近隣企業にもお伝えしていく。